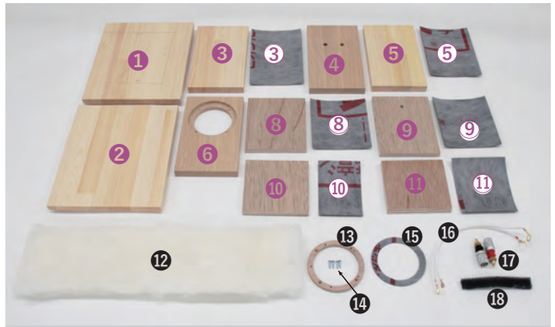
工作を始める前に

・工作に関しては鋭利な工具なども使用しますので、怪我のないよう充分注意して作業してください。

部材が揃っているかご確認ください

- ❶ **側板**（ガイドあり）×**2 枚**（18mm 赤松集成材）
- ❷ **側板** ×**2 枚**（18mm 赤松集成材）
- ❸ **天板** ×**2 枚**（18mm 赤松集成材）、③ **遮音シート** ×**2 枚**
- ❹ **背板** ×**2 枚**（18mm オーク無垢材）
- ❺ **底板** ×**2 枚**（18mm 赤松集成材）、⑤ **遮音シート** ×**2 枚**
- ❻ **前板** ×**2 枚**（18mm オーク無垢材）
- ❽ **音道板上部取付用**（12mm ラワン合板）、⑧ **遮音シート** ×**2 枚**
- ❾ **音道板右横取付用**（12mm ラワン合板、丸穴加工済み）、⑨ **遮音シート** ×**2 枚**
- ❿ **音道板下部取付用**（12mm ラワン合板）、⑩ **遮音シート** ×**2 枚**
- ⓫ **音道板左横取付用**（12mm ラワン合板、斜めカット済）、⑪ **遮音シート** ×**2 枚**
- ⓬ **吸音材**（天然サーモウール）×**4 枚**
- ⓭ **交換用リング**（ラワン合板）×**2 枚**　※出荷時に❻に取り付けられています
- ⓮ **交換リング取付け用ネジ** ×**8 枚**　※出荷時に❻に取り付けられています
- ⓯ **遮音シート**（リング状カット済）×**2 枚**　※お客様の任意で取り付け
- ⓰ **配線用ケーブル**（端子接続済み）× **赤・黒各 2 本**
- ⓱ **ターミナル**（マークオーディオ製 独立型ターミナル BP-AL-S）× **赤・黒各 2 本**
- ⓲ **中粗目ウレタンフィルター** ×**2 枚**　※お客様の任意で取り付け



※板番号は、stereo 編 ONTOMO MOOK「これならできる特選スピーカーユニット マークオーディオ編」の作例として発表された生形三郎モデル「TM-1 Hummingbird」をもとに振っています。商品化にあたり板厚を変更したため、バッフル補強板 ❼ は欠番としています。

下記のものはお客様自身にてご用意ください

・**プラスドライバー**　・**木工用ボンド**　・はみ出たボンドを拭き取るための**濡れ雑巾**
・組み立てた部材を固定させるための**ハタガネ**（数本）　・**キリ**　・**ペンチ**（任意）　・**はさみ**
・**スピーカーユニット「OM-MF519」（別売り）**

※スピーカーユニットは、stereo 編 ONTOMO MOOK「これならできる特選スピーカーユニット マークオーディオ編」特別付録 OM-MF519 をご用意ください。

工作手順

・この手順通りに進めなくても作成することはできます。作りやすい手順で進めてください。

ターミナルは黒色（マイナス）を向かって左側、赤色（プラス）を右側に設置する

［Step1］ターミナルを装着させる

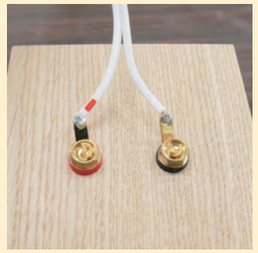
⓱ターミナル と ⓰配線用ケーブルの取り付け方

［1］ターミナルに付属しているナットと取付用プッシュの一つを外す

［2］❹背板 の穴にターミナルを差し込む

［3］❹背板 の裏から［1］で外した取付用プッシュをはめ込む

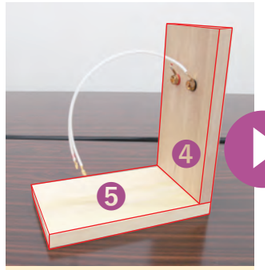
［4］⓰配線用ケーブル をはめる
※ケーブルの赤い印のある方はターミナルの赤色（プラス）側に対応



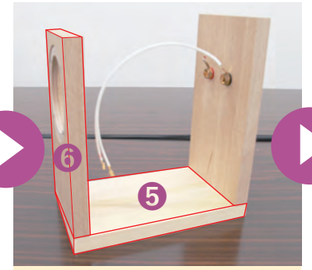
［5］［1］で外したナットをしっかりとはめ込む

［6］ナットは、ペンチなどを使ってターミナルをまわしたときに一緒にまわらないようしっかりと固定する

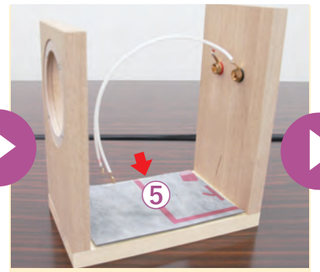
［Step2］筐体を組立てる



［7］❹ 背板 の接着面にボンドを塗り、❺底板 に接着する



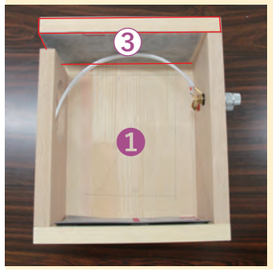
［8］❻ 前板 の接着面にボンドを塗り、❺底板 に接着する



［9］⑤遮音シート にボンドを塗り、❺底板 に接着する

［10］❹背板、❺底板、❻前板 にボンドを塗り、❶側板 に接着する

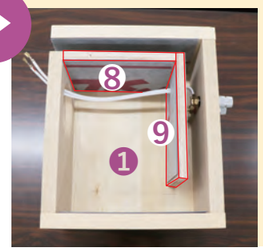
［11］③遮音シートにボンドを塗り、❸天板 に左図の位置に接着する



［12］❸天板 にボンドを塗り、❶側板に接着する

［13］⑧遮音シートにボンドを塗り、❽音道板（上部取付用）に左図の位置に接着する ※下部に合わせて上部を少し空ける

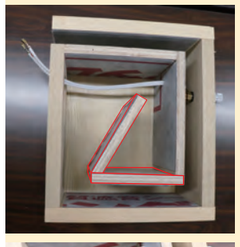
［14］⑨遮音シートにボンドを塗り、❾音道板（右横取付用）に左図の位置に接着する ※下部に合わせて上部を空ける
ボンドが乾いたら、❾音道板の穴の位置に合わせてキリで穴を空ける。※予めカッターなどで切るか、穴あけパンチで穴を空けても可



［15］❽音道板（上部取付用）、❾音道板（右横取付用）にボンドを塗り、❶側板のガイドに沿って接着する

［16］⓫遮音シートにボンドを塗り、⓫音道板（左横取付用）の斜めカットがない側に接着する

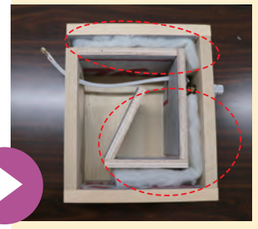
［17］⓫音道板（左横取付用）の斜めカット部分にボンドを塗り、⓪音道板（下部取付用）の左図の位置に接着する



［18］⓫音道板（左横取付用）と ⓪音道板（下部取付用）にボンドを塗り、❶側板のガイドに沿って接着する

［19］⓪遮音シートを左図の位置に接着する

［20］⓬吸音材 のうち、1 枚だけ真ん中からハサミで切って半分の大きさにする

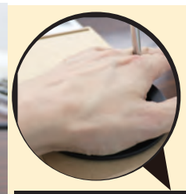


［21］［20］で切り取った ⓬吸音材 を、左図の位置にボンドで接着する

［22］もう 1 枚の ⓬吸音材 を左図の位置にボンドで接着する

▼ 裏面に続きます

［23］すべての接着面にボンドを塗り、❷側板 をかぶせて接着する
※ズレが生じないように充分ご注意ください。
※ボンドが完全に乾くまで、ハタガネなどで固定させてください。
※重しなどを使うとより効果的です。



スピーカーユニットを取り付ける際に、ドライバーの先でユニットのコーン部分を傷つけないように、手の甲でガードしながらネジを締めていただくことをお勧めします

［24］⓯配線用ケーブルとスピーカーユニットを接続し、プラスドライバーを使ってスピーカーユニット付属のネジで固定する
※スピーカーユニットは別売りです。stereo 編 ONTOMO MOOK「これならできる特選スピーカーユニット マークオーディオ編」特別付録 **OM-MF519** をご使用ください。
※スピーカーユニットにも「プラス（＋）」と「マイナス（－）」があり、端子付近に刻印されています。配線用ケーブルは赤い印のあるものを「プラス」に、もう片方を「マイナス」に差し込んでください。
※スピーカーユニットを固定する**ネジ**は、スピーカーユニットに付属しています。

［25］完成です

⓲ 中粗目ウレタンフィルター の使用は任意です。お好みでご使用ください

［26］⓲中粗目ウレタンフィルターにボンドを塗り、❻前板 の上部に差し込む

このエンクロージャーは、OM-MF519 を使用することを想定して設計されていますが、MarkAudio「Alpair5」を使用しても楽しむことができます。

MarkAudio「Alpair5」を使用する場合には、⓮交換用リング取付用ネジ と ⓭交換用リング を外し、スピーカーユニットを取り付ける
※スピーカーユニット（MarkAudio「Alpaire5」）は別売りです。
※Alpaire5 のガスケットとして **⓯リング状カット遮音シート** を任意でご使用ください。設置箇所は、**❻前板** のざぐり部分とスピーカーユニットの間です。なお、シートにはスピーカー取付用の穴が空いていませんので、お手数ですがお客様自身でキリなどで空けてご使用ください。その際、キリの先でユニットのコーン部分を傷つけないようにご注意ください。

stereo ONTOMO Shop

STKT-018

生形三郎モデル TM-1 Hummingbird -upgraded- 組み立てガイド

この度は、stereo× ONTOMO Shop 商品をお買い上げくださり、
誠にありがとうございます。
組み立ての前に、このガイドを必ずご一読くださいますようお願いいたします。

■販売元　株式会社音楽之友社
■お問い合わせ先　株式会社音楽之友社 オンラインショップ「ONTOMO Shop」係
〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30　電話：03-3235-2090（平日）　https://ontomo-shop.com/

MN-0049
［取説］TM-1 Hummingbird upgraded
2946000005950